

Shien

し え ん

第30号

バックナンバーは
埼玉県立図書館
ウェブサイトへ!



子どもの読書に関わる方々の活動とネットワークを支援(Shien)する。
そんな大きな願いをもったささやかな情報誌です。



越谷市立栄進中学校図書委員作成
市立図書館に展示した手書きポップ



さいたま市立土屋中学校図書館入口
美術部による海の中をイメージした装飾



埼玉大学附属中学校図書館
新着図書コーナー



さいたま市立日進中学校図書館入口
館内展示「SDGsを調べよう」

中学校の学校図書館最前線

県内中学校の学校司書4名の方に
インタビューしました!

埼玉大学教育学部附属中学校

鯨井みほ司書

勤務体制：常勤

勤務時間：6.05時間／日 5日／週

勤務形態：1校専任

学校の年間計画に図書館運営の組込み：有

ボランティアの受入れ：無

今は受入れていないが、本の修理や装備、
新聞記事の整理などをお願いしたい。



埼玉大学附属中学校図書館閲覧スペース

選書方法

調べる学習で必要になるものや生徒の興味を引き出したいもの（キーワードを教えてください）など、教科ごとに先生へリサーチして選書を行っています。また、本の案内などを渡して、購入して欲しい本に付箋を貼ってもらっています。

教科書で紹介された本や教諭が紹介した本などは積極的に購入しています。

子どもたちからのリクエストも購入しています。

年間計画への組込みについて

各教科等の授業で、学校図書館を目的をもって計画的に利用し、その機能の活用を図ることができるよう、学校図書館教育全体計画が策定されています。自ら学ぶ学習環境の充実と情報活用能力の育成を図っています。

タブレット端末導入による図書館利用の変化

蔵書検索をクラウド化したことにより、オンラインから検索して予約する件数が増えました。

来館して検索機やブラウジングで探すよりも「借りる」のみという合理的ニーズと、他の人に見られたくないなど、生徒の繊細なニーズに答えている結果だと思います（これまでは隠れていた利用者の利用が増えました）。

辞典や新聞のオンラインデータベースの利用が進むと、図書館への来館は減るかもしれませんが、「偶然見つけるために来館し、情報を結びつけるために探す」行為や、より専門性の高いレファレンスが増えるのではないかと予想しています。

力を入れていること・紹介したいこと

図書委員会などの生徒活動の支援です。図書委員会では以下のような活動を行っています。

・ブックトーク

月1回、クラスの生徒の前で「1つのテーマで3冊の本」を紹介します。

聞き手を飽きさせない工夫（ストレッチの本を紹介し、実際にストレッチを行うなど）がとても和やかな雰囲気で行われており、図書館の本と生徒たちを結びつけています。

・POP作成

掲示物として利用し、各コンクールに応募、ラミネートして「読書郵便」としても利用します。

・「切り抜き新聞」や「教育実習の先生おすすめ本」などの掲示物作成

授業に関連することや今興味があることを結びつけ、新聞記事や本を紹介します。

・スタンプラリーや読書パズル

スタンプが溜まるとブックカバーやお手製のしおりをもらえます。1冊借りるごとに、モザイクアートが完成するようにパズルのピースを嵌めていきます。

印象に残っている子どもとのやり取りは？

・授業で百科事典を紹介した後、何かあると真っ先に百科事典を引く様子が見られました。

・1年生のときにブックトークの原稿を書くのに苦戦していた生徒が、3年間続けたことで成長し、誰よりも面白い内容になり、テーマ設定もクラス思いの内容に変化したことです。

どのような図書館にしたいですか？

探しにきたものが見つかる。新しいものや情報を見つけられる。生徒同士が繋がるきっかけになる、わくわくする図書館にしたいです。

さいたま市立土屋中学校

図書館入り口から中を見たところ。入り口付近は新着本コーナー。美術部による海の中をイメージした装飾あり。

矢作有紀司書

勤務体制：会計年度任用職員

勤務時間：6時間／日 4日／週

勤務形態：1校専任

学校の年間計画に図書館運営の組み込み：有

ボランティアの受入れ：有（廃棄図書処分作業を12～14名くらい1時間半くらいでお願いしている。）



選書方法

司書が選書リストを作成し、それを司書教諭、教務主任、教頭、校長が確認、決裁する形です。

生徒からのリクエスト・TRCや出版社のカタログ、ホームページ・新聞の書評・「子どもの本棚」等の書評冊子等を参考に作成しています。

学校の年間計画に図書館運営の組み込み

年度当初に「学校図書館教育」という文書で、計画や目標を司書教諭が作成します。また、年度当初の職員会議で、毎年行っている朝読書や行事などの読書指導について提案します。

授業への関わり

1年生国語…「故事成語」調べ、班で一つの話成語について調べ漫画で表現する

2年生社会…地理の東北地方などのいいところをPRするポスターを作成する

3年生家庭科…幼児の発達、発達段階における絵本の選書の違い、絵本の読み聞かせの実演

3年生理科…「遺伝」をキーワードに各自いろいろな切り口で調べ学習

他、「総合」の時間で1年生は「西区ガイドマップづくり」「職業調べ」。2年生は「日本のいいところPR」「SDGs」「ユニバーサルデザイン」。3年生は「京都・奈良のPR冊子づくり」など。

これらの「総合」は、図書館から資料を貸し出す(100冊～300冊を選書し、コンテナに入れて教室や廊下に持って行く)形です。

タブレット端末導入による図書館利用の変化

タブレットで調べ学習をするので、(今までなら使っていた)図書館の資料を必要としない総合の授業もありました。また、タブレットを図書館に持ち込んで、タブレットと本で各自調べ学習を行うという形もありました。

力を入れていること・紹介したいこと

今年度は、図書館からの発信をすることに力を入れています。学校のホームページの図書館のページを昨年度末に更新できたので、今後も保護者や生徒に向けて最新の情報を更新していきたいです(図書館だよりもPDFにし掲載しています)。

また、先生方に対しては、授業支援や蔵書資料などについてもっとアピールしていくことが司書としての今後の課題です。

図書委員の活動で紹介したいもの

・冬の読書キャンペーンで「本のガチャガチャ」(生徒からのアイデア)

ガチャガチャのおもちゃを生徒会予算で購入し、その中のカプセルに「+1冊貸出券」や「ポイント2倍」(土屋中ポイントという制度あり)など当たりや図書委員からのメッセージを入れました。本を1冊借りると、ガチャガチャを回せるコインを一枚渡すという仕組みです。普段図書館に来ない生徒も、興味をもって来館してくれたのはよかったです。

また、図書委員メンバーたちも自分たちで考案したこともあり、カウンターで説明する仕事など、張り切って行ってくれました。図書委員手作りのしおり等も景品としました。

・「先生が生徒に読み聞かせ」「生徒が生徒に読み聞かせ」を年に何日間か実施するため、クラスへの告知や取りまとめを毎年行います。

・秋の読書週間に「土屋中おすすめブックガイド」(教職員によるおすすめ本冊子)を発行するので、先生方への原稿依頼を図書委員が行います。

・昨年度(2020年度)は「読み聞かせ」ができなかったため、お昼の放送を使い「図書委員によるブックトーク」を行いました。

・昨年度(2020年度)図書委員は、自分のおすすめ本のPOPを書き、ポプラ社のPOPコンテストに応募しました。また、作品は本と一緒に図書館内に展示しました。

さいたま市立日進中学校

星野千鶴子司書

勤務体制：会計年度任用職員

勤務時間：6時間／日 4日／週

勤務形態：1校専任

学校の年間計画に図書館運営の組み込み：無

ボランティアの受入れ：無



選書方法

司書が行います。生徒や先生方のリクエスト、他校の司書さんからの情報、カタログ、図書館雑誌の情報などから選んでいます。

授業への関わり

社会科の授業では、本を先生の管理で準備して貸出しています。

家庭科では、昨年（2020年度）は図書館で保育と読み聞かせの授業を行い、本の選び方・読み方などをお話ししました。今年度は本の貸出しのみ行いました。

今年（2021年度）は国語の授業でビブリオバトルを取り上げました。3年生は本選びとグループでのチャンプ本を決めるところまでを図書館で行い、2年生はさらにクラスのチャンプ本を決めるところまで司書も参加して行いました。

読書指導はどのように行いますか？

中学では生徒に直接語る時間がないため、「図書館だより」や「おすすめ本のコーナー」が基本です。今年度は1人の先生から「謎解きクイズのようなもので本を探させたい」という希望があり、5つのヒントで本を探す、というゲームを作りました。授業の時、図書館に来てグループで探すのですが、自分の知らない本に出合うことで、その本を借りたり予約したりと思わぬ本との出会いを楽しんでいました。

タブレット端末導入による図書館利用の変化

タブレットを持つようになって、図書館の本は使わないという意識が先生方の中にあります。辞書を使うこともですが、英語や総合での調べものもタブレットを使いパワーポイントでの発表という形になっています。

力を入れていること・紹介したいこと

「本を使ってどうやって調べるか」という方法どのように伝えられるかということに力を入れて取り組んでいます。授業の時間はいただけないため、図書館のコーナーや展示で少しずつ、段階的に紹介しています。タブレットを使う機会が増えている今だから、本で調べたいことを伝えたいと思います。

印象に残っている子どもとのやり取りは？

ある生徒が「読書の木」という生徒のおすすめの本を紹介するコーナーで、私にはすすめていく本を紹介していました。しかしその紹介文はきれいな字で細かく、この本でこんなに救われたというようなことが書かれていました。そこで、直接その生徒からその本に対する熱い思いを聞いて、どんな本も大切なんだと考えさせられました。

どのような図書館にしたいですか？

読書センターとしてはもちろんのこと、学習センター・情報センターとして授業や生徒の調べ学習に使える図書館を目指しています。

越谷市立栄進中学校

中西ゆかり司書

勤務体制：会計年度任用職員

勤務時間：7時間／日 4日／週

勤務形態：3校兼任

学校の年間計画に図書館運営の組み込み：有

選書方法：司書教諭が行う

ボランティアの受入れ：無



学校の年間計画に図書館運営の組み込み

他教科の年間計画に合わせ図書館も作成します。

授業への関わり

図書館を利用した理科の授業で、生徒の資料探しのサポートをしました。

読書指導はどのように行いますか？

主に新聞記事や月一の頻度で発行の図書便り、音楽祭や体育祭、生徒会役員選出などの学校行事にリンクした図書のテーマ展示を基に読書指導につなげています。それら関連図書の展示で生徒の興味関心が向くようにトピックスを掲示し、NDCによる分類番号も併記しています。分類番号の書架に誘導する事で、より多くの関連図書が並び棚から自らが選んだ本につながるよう指導しています。

また、昼休みに来館する生徒に声をかけするようにしています。声をかけることによって自校における生徒の興味関心を知ることが出来、今後の読書指導にも役立てます。

タブレット端末導入による図書館利用の変化

昼休みは教室にこもる生徒も増え利用が激減したと感じます。

力を入れていること・紹介したいこと

教室に入れず、相談室登校をしている生徒の読書相談対応に力をいれています。

市立図書館ティーンズコーナーに、おすすめ本の手書きポップをつけ展示・貸出をしています。その様子を市立図書館HPと当校HPに同時に掲載し連携を図っています。

図書委員の活動で、毎月テーマを決めて掲示する館内蔵書の紹介をしています。

3校兼任という勤務形態で大変なところ

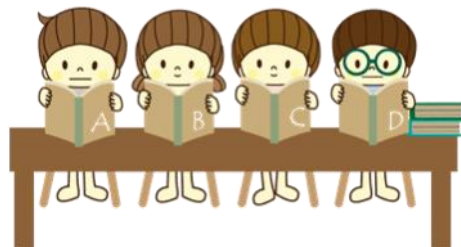
多々ありますが、児童・生徒の名前と顔を一致させるのに一苦労します。限られた時間内で限界はありますが、なるべく声かけして、出来る範囲で関わりを持てるように努力しています。やむを得ず図書館内だけの作業に追われることになる日も多く、先生方とのコミュニケーションを取るにも工夫が必要です。授業支援で必要な資料準備や本、読書に関するちょっとした相談も勤務日当日に出来なければ1週間後になります。先生にとっても学校司書にとっても貴重な協働のチャンスに繋がっていきにくい現状です。図書館は校長先生を館長とする児童・生徒・先生にとっても授業に不可欠な学校内施設なので、職員会議や校内研修に参加する必要性を感じていますが、複数校全ての参加は現実的ではありません。

印象に残っている子どもとのやり取りは？

- ・図書館に置いて欲しい本のリクエストを、その理由と共に受けたとき。
- ・読書相談で勧めた一冊の本をきっかけに、相談室登校の生徒が、興味ある様々なジャンルの本を手取るようになりました。

どのような図書館にしたいですか？

常に人の居る図書館を理想としています。生徒や先生方から「困ったときは図書館」と思えるほど安心できる場所であり、資料利用がしやすい、開かれた図書館を目指しています。



特集2 中学校でのブックトークレポート

久喜市立久喜南中学校で司書教諭から依頼を受けて、2013年からブックトーク（読み聞かせ）を行っています。

最初の3年間は年2回ほど、授業単位で時間をとっていただいて、ブックトークという形で始めました。その後2015年の秋からは司書教諭が代わり、朝読タイプの読み聞かせに移行することになりました。

今回は初期の45分プログラム（2本）を紹介します。

プログラム内にある本以外を関連図書として、簡単なおすすめポイントを書いたポップをつけて、会場内のテーブルで紹介しました。（子ども読書支援ボランティア 中北）

テーマ「ツナグ」

【対象】 中学2年生 【時期】 6月

【シナリオ】

2001年にこんなメールが世界を駆け巡りました、という導入で、①『世界がもし100人の村だったら』を抜粋しながら読み上げ、併せて『世界がもし100人の村だったら 子ども編』も紹介します。日本にいると気づきにくい世界の現状、自分たちとは異なる環境に置かれている子どもたちの存在について気づかせ、②『ぼくがラーメンたべてるとき』を一冊読み聞かせをします。

次に、イスラエルとパレスチナの民族戦争の歴史を簡単に説明してから、③『友だちになれば、きっと。』④『三つの願い』⑤『アハメドくんのいのちのリレー』⑥『雪とパイナップル』を紹介します。紛争や病気で命を落としてしまった子どもたちについての話から、命が失われた後も残る「心のつながり」というキーワードへつなげます。

最後に人と人のつながりを考えさせる本として⑦『ツナグ』⑧『西の魔女が死んだ』⑨『ユタとふしぎな仲間たち』を紹介し、エベレストやシロナガスクジラなど、世界中の様々な「せかいいち」を紹介する大型絵本⑩『ここがせかいいち』を読んで終わりにしました。

【紹介した本】

- ①『世界がもし100人の村だったら』
（池田香代子／再話 C. ダグラス・ラミス／対訳
マガジンハウス 2001）
- ②『ぼくがラーメンたべてるとき』
（長谷川義史／作・絵 教育画劇 2007）

- ③『友だちになれば、きっと。』
（ガリト・フィンク [ほか] 作 リツァ・ブダリカ／編
メルヴェト・アクラム・シャーバーン／作
いぶきけい／訳 鈴木出版 2007）
- ④『三つの願い』（デボラ・エリス／著
もりうちすみこ／訳 さ・え・ら書房 2006）
- ⑤『アハメドくんのいのちのリレー』
（鎌田實／著 安藤俊彦／画
ピーター・バラカン／英訳 集英社 2011）
- ⑥『雪とパイナップル』（鎌田實／著 集英社 2004）
- ⑦『ツナグ』（辻村深月／著 新潮社 2010）
- ⑧『西の魔女が死んだ』（梨木香歩／著 新潮社 2001）
- ⑨『ユタとふしぎな仲間たち』（三浦哲郎／著 新潮社 1971）
- ⑩『ここがせかいいち』（みやれいこ／イラスト
千葉とき子／監修 チャイルド本社 2008）

テーマ「言葉を楽しむ・言葉で楽しむ」

【対象】 中学1年生 【時期】 6月

【シナリオ】

まず①『外郎売』の絵本を紹介し、文中に出てくる以外の早口言葉を紹介、挑戦してもらいました。更に絵で言葉を探るなぞなぞである「判じ絵」について説明し、その場で何を表わしているか当てる②判じ絵クイズをしました。

次に③『さる・るるる』の文字を隠して絵だけ見せ、さるが何をしている絵なのか、隠した言葉を当ててもらいます。

ここで夏休み間近だったことから、実施当時の課題図書3冊④を紹介しました。その場でどの本が読みたかったか投票してもらい、ピブリオバトルを体験してもらいました。

最後に⑤詩「そうだ村の村長さん」を全文読み、文中に何回「そうだ」という言葉が出てくるか数えてもらって終了としました。

【紹介した本】

- ①『外郎売』
(長野ヒデ子/絵 齋藤孝/編 ほるぷ出版 2009)
- ②判じ絵 判じ絵を通じて、クイズ遊び
- ③『さる・るるる』
(五味太郎/作画 絵本館 1979)
- ④ 体験！ビブリオバトル～課題図書を紹介～
『ペンギンが教えてくれた物理のはなし』
(渡辺佑基/著 河出書房新社 2014)
『うなぎ一億年の謎を追う』
(塚本勝巳/著 学研教育出版 2014)
『ブロード街の12日間』(デボラ・ホプキンソン/著
千葉茂樹/訳 あすなろ書房 2014)
- ⑤「そうだ村の村長さん」 『きつねうどん』
(阪田寛夫/詩 童話屋 2011)



子ども読書活動関連ボランティア団体情報

埼玉県ウェブサイト「子ども読書活動関連ボランティア団体情報」があります。

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/kodomodokusho/kd-vt.html>)

県内で子ども読書活動の推進に携わるボランティア団体の一覧です(令和元年度調査、公開不許可団体を除く)。



インターネットからの情報収集担当よりおすすめウェブサイトの紹介

中学生へのおすすめ本紹介のリンク集

今回のテーマ「中学生の読書最前線」に合わせて中学生へのおすすめの本を紹介しているウェブサイト調べてみました。(子ども読書支援ボランティア 坂本)

【150人に聞いた！】中学生向け本の人気おすすめランキング50選【2021年最新版】(goo)

《<https://ranking.goo.ne.jp/select/7072>》

男女150名を対象に調査した中学生向け本の人気おすすめランキングをSF・ファンタジー小説からビジネス書まで、幅広く紹介しています。また本の選び方や読書感想文を書くときのコツについても紹介されています。

ヤングアダルト図書コーナー2021 (TOHAN CORPORATION)

《<https://www1.e-hon.ne.jp/content/cam/2021/ya.html>》

YA出版会が発行している『YA朝の読書ブックガイド2021』から、7つのテーマごとに本を紹介しています。

本ナビスタッフがおすすめ！中学生に読んでほしい本17選 (絵本ナビ)

《https://style.ehonnabi.net/ehon/2021/04/14_542.html》

絵本ナビのスタッフが選んだ中学生たちに読んでもらいたい本をおすすめコメントと共に紹介しています。

何を讀もうか迷ったらこの本 中学生に読んでほしいおすすめ50冊

(フックス雨だれ)

《<https://amada-re.com/tyugakuseiosusume/>》

小学校高学年から中学生・高校生・大学生まで、10代へのおすすめを中心に本を紹介しています。



子ども読書支援センターからのお知らせ

学校図書館活用講座を開催しています

県内の小・中学校の教諭、学校司書を対象に、学校図書館の活用した授業の活性化を目指し、講義や演習を行っています。

令和3年度は「本とインターネットを使った情報の探し方～SDGsを題材に～」をテーマにとりあげました。

★タブレット教育が広まる中、調べ学習をどのように支援したらよいのか？

★確かな情報を見極める力を身につけさせたい

★本とインターネット、どちらをどうやって使うべきなのか？

そんな疑問にお答えします。例年7-8月の夏季休暇期間に開催しています。



★参加者から感想を頂きました★

SDGs学習のすすめ方として、テーマを見つけるための百科事典・年鑑などの活用、NDCによる書架のブラウジングなどの具体的な手法を知ることができて良かった。(学校司書)

SDGsについても急速に取り組みが進んでおり、追いつけない中で、たくさんの資料や取り組みを教えて頂きありがとうございました。(中学校司書教諭)

司書に相談

特別支援学校の図書館運営相談

学校図書館の運営にあたり、疑問やお困りのことがありましたらご相談ください。

本のラベルはどうしたらよい？ どういう本を選べばいいの？ などなど。

久喜図書館子ども読書支援センターまでご連絡ください。

「特別支援学校の図書館運営ははじめの一步！～やってみよう本の選書編～」もご利用ください。

《<https://www.lib.pref.saitama.jp/guide/children/gakko.html>》からダウンロードできます。



埼玉県立図書館ウェブサイト 「読み聞かせ」や「わらべうた」の動画を公開しています

埼玉県立図書館ウェブサイト子ども読書支援に関わる動画を作成しています。

読み聞かせのイロハについてはこちら

《<https://www.lib.pref.saitama.jp/guide/children/post-37.html>》

わらべうた動画はこちら

《<https://www.lib.pref.saitama.jp/kids/post-5.html>》

